

四之宮4月号 公民館だより

平塚市四之宮3-20-26
電話 55-0655
FAX 54-8255
ホームページは

地図は
こちら→



平塚市立四之宮公民館 と検索

地域の情報は **四之宮ふれあい便り** と検索

焼きたて 美味しい!

【中央公民館・地区公民館共催】

親子パン作り教室



親子で協力してパンとスープを作ります。

楽しいひとときを過ごしながら、親子のふれあいを深めてみませんか？

【日時】6月8日(土) 10:00~13:00 (受付9:40~)

【場所】平塚市保健センター (平塚市東豊田448-3) 2階調理室(栄養指導室)

【講師】豊福 厚子氏、オリーブの会(大神公民館利用団体)

【対象】市内にお住まいの小学生とその保護者 ※未就学児の参加不可

【定員】18組(保護者1人につきお子さん2人まで) ※定員を超えた場合は抽選

【参加費】1人500円 ※当日お支払いください。おつりがありません。

【内容】ウインナーパン、チョコパン、じゃがいもスープを作って一緒にお昼に食べます。

【持ち物】エプロン・三角巾(パンダナ)・ふきん・飲物・マスク

※爪を切って参加してください。

【申込み】右の2次元コードから、4月15日(月)~5月8日(水)まで

にお申込みください。定員を超えた場合の抽選結果は5月15日(水)までにメールでお知らせします。

【備考】アレルギーのある方は事前にお知らせください。

【問合せ先】大神公民館(電話55-5040)



2次元コード

四之宮地区社会福祉協議会

ふれあい
サロン

4月15日(月) 13時~15時
四之宮公民館 集会室

今月は...

「わくわく アート」



手を動かしているだけで、自然と笑顔になり、できた作品をみんなで眺めながら、達成感を味わうことができます。アートには、脳を活性化させるチカラがあります。

♪ 子育てるんるん ♪

4月15日(月) 10:00~11:30

四之宮公民館 集会室

内容：こいのぼりを作ろう

お出かけするのにいいきせつ
になってきましたね!

お友達を誘って
遊びに来て

くださいね~♪



四之宮地区福祉村からのお知らせ

4月の福祉村は、次のとおり実施します。なお、新型コロナに對しましては、ソーシャルディスタンスを保つことで、3密を回避し活動を行います。

開村日：毎週 月・火・水・土曜日（祝日は休村）

場所：公民館 いこい室

開村時間：AM 10:00~12:00 PM 1:00~3:00

TEL：55-0750

手芸

4/1・8・15・22
いずれも(月)AM

ゴム体操・コグニサイズ

4/3・17・24
いずれも(水)PM

歌声サロン(三味線)

4/16(火)PM

小中学生への学習支援

4/6・13・20・27
いずれも(土)AM

4月サロンのご紹介

スカットボール

4/16(火)AM

臨床美術

4/3・24
いずれも(水)AM

園芸クラブ

4/9・23
いずれも(火)AM

吹矢

4/8・22
いずれも(月)
9:30~

囲碁ボール

4/10・17
いずれも(水)AM

お茶席をたしなむ会

4/1(月)PM
5月はお休みです

四之宮まめ知識「四之宮 あれそればなし その16」 記事提供：四之宮郷土史同好会

相模国の国府(くまのくにのくに)は 四ノ宮(よのみや)か?

その昔、四之宮に相模国の国府があったかも知れないということは、この地域の多くの人が知っていると思います。以前から発掘調査が進められ、その所在地の候補が上げられていました。

2004年(平成16年)の湘南新道建設に伴う調査で、大念寺交差点付近から国府脇殿(わきでん)と見られる8世紀前半の大型掘立柱建物が発見されたことで、相模国府は成立当初から平塚四之宮にあり、後に大磯(国府本郷)に移転したとする説が有力になっていきます。

国府には、行政の中枢「国庁(現在の県庁に相当)」が置かれ、大型の正殿とその前面左右の脇殿が中央の広場を囲むようにコの字を伏せた形に配置されています。この建物配置は、国家的な政務や儀式を行なう都(平城宮)の大極殿(だいごくでん)と朝堂院(ちようどういん)をモデルとし、東国でもその配置が徹底されていたようです。

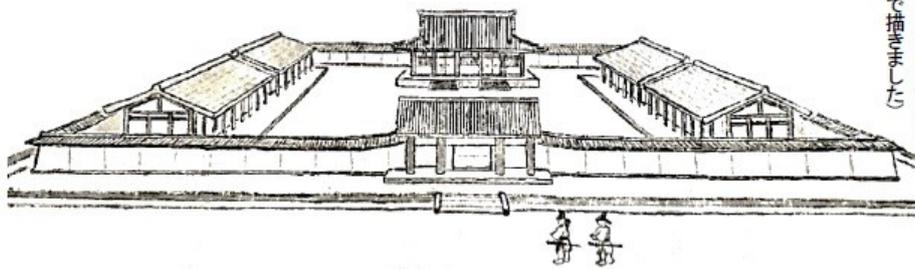
8世紀(奈良時代)初頭のわが国は、律令国家の制定をめざして様々な改革が行なわれていました。

奈良の平城宮を中心に、全国60余国を統治すべく各国内に国府

を置き、平城宮から国司を派遣して、政務、儀式などが行なわれました。

絵は、相模国府の国庁の想像図です。

※平塚市博物館に展示中の模範を参考にさせていただきました。墨絵で描きました。



南門をくぐり右に東脇殿、左に西脇殿、そして正面に正殿が配置され、周囲を高い築地塀(ついでい)や板塀などで囲われていたようです。

また、国庁の周りには国衙(こくが・役所庁舎)と呼ばれる国庁に付随する施設が配置され、その周囲には官人の住居、倉庫、そして鍛冶工房など職人のための施設が多数発見されており、古代都市が形成されていたようです。

国府域と推定される稲荷前A遺跡から発見された遺物に、「国厨(こくちゆう)」と書かれた「墨書土器」がいくつかあります。「厨(くりや)」は食事に関する施設(厨房)と考えられ、国司や官人のための食堂、または給食センターと考えられそうです。

現在も国府地域と考えられる区域の発掘調査が進められています。が、他国の国府跡の調査結果などから想像すると、相模国の郡衙(ぐんが・現在の市役所、町役場)などから集められた税としての米や特産物を納める高床式の倉庫群などが発見されるかも知れません。

これからも注目していきたいですね。

【参考文献】

掘り起こされた平塚

令和三年度 平塚市博物館

四之宮郷土史同好会

ホームページ

「四ノ宮」コード

です。

